

標準準拠対応に関するRFI依頼事項

項目		記載内容
1 会社概要		
1-1	会社概要	貴社の会社概要を記載してください。
1-2	パッケージシステムおよびクラウド環境における稼働実績	貴社のパッケージシステムの導入実績、クラウド環境での稼働実績について記載してください。
2 標準準拠システムへの対応について		
2-1	標準仕様書20業務の対応予定	標準仕様書20業務に関する貴社の対応予定（製品名、標準化対応方針、対応方法、ならびに縮退環境有無・要否とその理由）について記載してください。
2-2	標準準拠システムへのシフト・リフト手法について	標準準拠システムへのシフト手法、ガバメントクラウドへのリフト手法について、シフト・リフト同時型やリフト→シフト型など採用するパターンを記載して下さい。 ガバメントクラウド上の標準準拠システムへの移行パターンは、「地方自治体によるガバメントクラウドの活用（先行事業）について（令和3年8月 内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室）」をご確認下さい。
2-3	標準準拠システムの文字要件への対応方針について	標準準拠システムの文字要件への対応方針について記載してください。 標準準拠システムの文字要件は「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件 標準仕様書【第2.0版】文字要件説明資料（令和5年6月 デジタル庁）」をご確認下さい。
2-4	標準準拠後のシステム連携手法について	標準準拠後のシステム連携手法（データ連携手法、文字コード変換手法）について記載してください。 （お互いが標準準拠システムの場合の連携や標準準拠システムと標準化対象外システムとの連携など、考えられる連携パターンに分けて記載してください。）
2-5	標準化対応を貴社に委託した場合の利点について	標準化対応を貴社で行った場合の利点（作業負荷やコストの抑制、システム構築期間の短縮）について記載してください。
3 標準準拠範囲外への対応について		
3-1	ベンダオプションとして提供する機能について	貴社のベンダオプション機能への対応方針について記載してください。
4 ガバメントクラウドへの対応について		
4-1	ガバメントクラウド利用における基本方針について	ガバメントクラウド接続方式、ならびに利用方式、運用管理補助者の受託可否、ガバメントクラウド接続サービスへの対応について記載してください。
5 概算費用		
5-1	標準化対応の概算費用について	標準化対応の概算費用について、年度毎に概算費用を記載してください。